

授業概要

近年、幼稚園・保育所で、障害児の受け入れが進んできており、幼稚園教諭や保育士が障害について理解していることが不可欠となっている。障害児保育Ⅰでは、「知的障害児」、「発達障害児」といった各種の障害について演習や視聴覚教材を通して講義する。また、各種障害について事例検討を行い、具体的な支援方法を指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	障害児保育の概要（障害児保育の場）
第3回	知的障害（1）：知的障害児について
第4回	知的障害（2）：ダウン症児について
第5回	発達障害（1）：発達障害とは
第6回	発達障害（2）：自閉症児について
第7回	発達障害（3）：注意欠陥多動性障害児について
第8回	発達障害（4）：学習障害児について
第9回	身体障害（1）：肢体不自由児について
第10回	身体障害（2）：視覚障害児と聴覚障害児について
第11回	身体障害（3）：話し言葉の障害について
第12回	事例検討（1）：知的障害
第13回	事例検討（2）：発達障害
第14回	事例検討（3）：肢体不自由
第15回	まとめ
第16回	定期試験

到達目標

障害児保育がどのような場で行われるのかを把握するとともに、「知的障害児」、「発達障害児」といった各種の障害の特徴と保育における発達の援助について理解を深める。また、障害児に対する支援の方法を理解する。

履修上の注意

授業中の基本的なマナーに注意すること。やむを得ず授業を欠席する場合、授業資料は出席する受講者にもらっておいてもらうようにすること。遅刻・欠席をした場合、出席した受講者から授業内容を必ず確認すること。

予習復習

前の回にテキストの予習箇所を説明する。必要に応じて予習用プリントを配布するが、テキストは必須である。

評価方法

日頃の授業の様子（授業中の課題、授業態度、テキストの有無など）を50%、学期末の定期試験を50%として評価する。

テキスト

井村圭壯・相澤譲治（2016）「現代の障がい児保育」学文社